

# WEEKLY NEWS 2018 週報 通算 2244回 《12回》

## 第2640地区 和歌山東南ロータリークラブ

会長：鯨 拓也 幹事：宇治田堅三 会報委員長：籠田 弘



ロータリー：  
変化をもたらす

例会日：水曜日 例会場：ルミエール華月殿 第1・第2:18:30～(夜) 第3・第4・第5:12:30～(昼)  
事務局 E-Mail a-rotary@coral.cypress.ne.jp http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html

本日の例会  
10月4日(水)  
18:30～華月殿

- ・開会点鐘 鯨会長 ・ロータリーソング 君が代、われ等和歌山東南ロータリー、バーステイキング
- ・出席報告(例会委員会) ・ニコニコ箱(寄付金)報告 ・会長挨拶 ・幹事報告
- ・委員会報告 ・行事「岡本ガバナー公式訪問」 第2640地区ガバナー 岡本 浩様
- ・閉会点鐘 鯨会長

先週例会報告 会場監督 塩崎 和仁

ゲスト：第2640地区ガバナー補佐 大山典男様

### 会長挨拶

鯨 拓也 会長



皆さん、こんにちは。今日は『ガバナー補佐を迎えて』ということで、和歌山南RCの大山典夫さんにお出で頂いております。RI会長のメッセージ『ロータリー：変化をもたらす』この変化ですが、先週のSMBCさんの卓話のように、我が国の人口減も私たちが経験のない変化です。

話は変わりますが、トイザラス倒産。ここは勿論「おもちゃ屋さん」でしたが、主力製品は「紙おむつ」でした。定期的に紙おむつ買いに来るファミリー相手におもちゃを売ってきた。ところが、その(かさばる)紙おむつが、アマゾンなどネット販売・宅配に食われ売れなくなった。しかも、子供たちも、今や、従来型のおもちゃで遊ぶというより、ネット・ゲームに興じている。肝心のおもちゃもネット販売に負けている。なんとも時代の流れを感じる事例です。国連では、トランプ大統領が「北朝鮮のチビのロケットマンは自殺行為に動いている」と演説。欧米市場ではこの北朝鮮関連発言がトップニュースになっているとき、当事国の日本の株式市場は「解散！選挙は買い！」と囁し立て、急騰に酔っています。

大義不明の解散で株が買われるという日本ローカルな事象にはついてゆけないというかグローバルな視点で欠如しているように思います。

このように、世界が動く中で、本日の行事『ガバナー補佐よりのお話し』2640地区の基本指針など、こういった方向性をお考えなのかをお聞きできればと思っています。

### 幹事報告

宇治田堅三 幹事



- ① 1件事務局に届いておりますので、各テーブルに一部置いています。お目通し頂き、御入用の方はお持ち帰りください。 ・2016-2017年度 エレクト準備金収支報告
- ② ロータリーレート 10月は1\$=112円です。
- ③ 2640地区2017-2018年度インターアクトリーダーシップフォーラムの案内日時・登録料:10月29日(日)10:30～15:00、ロータリアン:5,000円 場所:青教学園中・高等学校4F 河内長野市末広町

Rotary  和歌山東南ロータリークラブ

ニコニコ	米山記念奨学会	ロータリー財団	東南育英会
累計	752,186	270,000	222,000 37,000

出席報告			出席者	出席率
会員総数	43名	9/27	37名	90.24%
出席免除会員	4名	9/13	36名	92.31%

## 幹事報告

### 宇治田堅三 幹事

- ④ 本日、例会終了後4階にてクラブ協議会を開催いたします。  
役員・理事・委員長・入会3年未満の会員の皆様、御出席よろしくお願ひいたします。
- ⑤ 来週はガバナー公式訪問です。例会前に岡本ガバナー、大山ガバナー補佐との「会長幹事懇談会」が17:30～行われます。
- ⑥ 本日例会終了後、臨時理事会を開催します。役員・理事の皆様、宜しくお願ひ致します。



## ニコニコ箱

### 小林 一三 会計

ガバナー補佐 大山典男様・クラブ協議会出席、卓話させて頂いて。  
ガバナー補佐 大山典男様・卓話お礼は奉仕活動にお役立てください。  
鯨君・大山様 本日よろしくお願ひします。  
西口君・大山様 本日よろしくお願ひします。



## ロータリー財団

宇治田君・ガバナー補佐 大山様、例会に続きクラブ協議会の御出席 よろしくお願ひします。  
稲葉君・大山様をお迎えして。  
郷間君・主旨に賛同して。  
山本君・大山ガバナー補佐をお迎えして。

## 「優勝カップ贈呈」第1回 東南会ゴルフコンペ優勝 坂本武司様



## 外部卓話 第2640地区 ガバナー補佐 大山典男様

### 「エルトゥールル号から学ぶ日本人の心 part2:そのDNAはどこから生まれたのか？」



「知っていますか？」を改めて読んでみてください。思い出して下さい。  
4年前、和歌山南ロータリークラブ会長時代に日本とトルコの合作映画「エルトゥールル」の映画製作支援を推進していました。市内9クラブの協賛を得て、城南ロータリークラブ主催のIMで「語り継ごう日本・トルコ友好の礎」田島串本町長を迎えて講演会を開催していただきました。（「エルトゥールル号」の話は省略）お蔭様で「海難」という題名で映画が無事封切られました。  
多くの日本人がはじめて知った日本とトルコの友好の歴史を、語り継がねばならない見返りを求めないロータリーでいう「超私の奉仕」を子や孫に伝えていくべきではないかと思っています。  
今日はその続きとしてもう一つの美しい話を紹介します。ロシア軍艦ディアナ号事件です。

時は幕末、嘉永6年(1854年)ペリーの黒船来航の翌年。嘉永7年11月4日、我が国最大級の安政の大地震(M8.2)が起こります。この日、下田港には日本との日露和親条約を求めて入港していたブチャーチン提督のロシア軍艦ディアナ号が地震による大津波で大破、船の修理ため、戸田港(今の沼津)に向う途中で嵐に遭い沈没寸前となります。漂着したディアナ号を発見した人々は、船員達を救う為に命がけで救助しました。大荒れの海の中で、三日間かけて約500人の船員全員を救出しました。

驚くのは、自分達も地震で大きな被害を受けているにもかかわらず、彼等の為に、悪天候をしのぐ小屋を作り、着物、食糧などを持ち込んだりして手を差しのべました。中には、目の前で着物を脱ぎ、体の冷え切った船員に着せてあげた人もいました。(申本と同じ)

この事件はもっとすごい物語に進んでいきます。帰国用の帆船として、この戸田村で日本初の洋式帆船「ヘダ号」が建造されたことです。幕府の命により周辺から集められた7人の棟梁と大工30人、作業員150名によって3ヶ月間で完成させます。造船に携わった人たちは目をみはる思いで洋式帆船の建造法を学び、これが日本近代造船の発祥となりました。ブチャーチンは、感謝を込めて船名に土地の名前をとって「ヘダ号」と命名、帰国の途につきました。それから30年後の明治20年、ブチャーチンの娘の伯爵オルガ・ブチャーチンが明治天皇に拝謁、戸田村を訪問、感謝を伝え、父ブチャーチンの遺言で遺産の一部を贈ったそうです。しかし時代は日露戦争へと進みます。日露和親条約はこのような過酷な状況の中で締結され、北方四島は日本、樺太は両国の共有地として決まった歴史的な条約でした。(中略)他にもこういった美しい話が沢山ありますが、私はこうした緊急時における日本人の行動パターンが、あるいはその道徳観がどこから来ているのか大変興味を持たざるを得ませんでした。

折しも、皆さんも記憶に新しい3.11東日本大震災時の日本人の被災者のとる行動が世界中から賞賛されました。阪神大震災の時も、関東大震災の時もそうでした。今のように裕福でない時代においてもです。

衣食足れば礼節を知るとよく言いますが果たしてそうなのでしょうか？  
危機に対して発揮される絆意識、和の精神はどこから来るのでしょうか？  
豊かであれば親切で、災害時に略奪も無いのでしょうか？

それは民度、教育・識字率だという人があります。確かに明治の初期でも世界から見ると識字率が高かったようです。それは江戸時代に寺子屋が盛んだからだといいます。でも良く考えてみて下さい。町民が読み書きそろばんを習うにしても親が積極的に行かせていたからですね。ではなぜ町民が読み書きを習わせたのでしょうか？

さらに遡って戦国世、織田信長の時代、宣教師フロイスが本国に報告しています。日本人は文字を読める人種である。他のアジア人と違う。なめたらあかんと。庶民が読めることに驚いたと同時に法治国家であると。同時代、ジャンヌダルクの時代、講和条約でジャンヌダルクが自分の名前が書けず○△□と書いたそうです。さらに平安から鎌倉へと移る時代、比叡山の管主が平家物語を琵琶法師を使って全国津々浦々にまで拡げ人気を博します。源氏・平家の武家の話、公家の話が入り混じり、地方にいても華やかな都の話、日本中のことが分かる。琵琶法師の謡曲は今で言うエンターテイメントだったんでしょうね。勿論舞台は全国にあるお寺でした。

それは、地方にいても日本全体の動きがおぼろげながら分る知的風土ができていたことです。向学心というか、一度は都へ行ってみたいという羨望の心が醸成されていったのではと思います。江戸時代に入ってから旅行ブームが火をつけます。向学心の土壌はこれで少しは理解できます。

しかしながら、本来の結論出すにはいささか不十分です。多少独断と偏見でDNAの要因を探ってみることにします。

それは日本の地形がもたらす最良の生き方が相互扶助、和の精神をであったのではないのでしょうか？日本の地形は南北にやたら長く、世界的に見ても四季がはっきりしていることです。ようやく春がきた、暑い夏が来る、辛抱すると秋が来る。秋が過ぎて冬が来る、しかし、辛抱すると春が来る、その間、台風あり、洪水、さらに火山の爆発とまさに日本は災害王国であります。こうした災害王国日本の地形が弥生時代の稲作の相乗効果にあいまっておのずとお互いを助け合う精神、相互扶助のDNAを育んできたのではないのでしょうか？

何千年に及ぶ最良の生き方が世界の人々が賞賛する日本人の行動を生んできたような気がいたします。あくまでも私の推論ですが。

よく海外へ留学した学生が、帰国報告で、日本のことを知らなかったとよく聞きます。これは戦後教育に一因がありそうです。

ただ、ここで私たちが心しておくべきことは日本人が特別優秀で、他の民族と違うのだという驕りを持つべきではないことを認識しておくべきだと思います。

そういう背景を分かった上でわれわれ日本人が醸成してきた「よき日本人の心」DNAを後世に語りついで行く役目をロータリアンが持つべきではないかと思えます。



「大山ガバナー補佐をお迎えしてのクラブ協議会」

2017年9月27日(水) 13:40~15:00 ルミエール華月殿 4階

